

令和4年4月5日

西条市長 玉井敏久 殿

会派名 自民クラブ
経理責任者 井上浩二

令和3年度政務活動費収支報告書

西条市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第6条の規定により、下記のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入(政務活動費) 1,410,000円
2 支出 302,050円

内訳

(単位:円)

科目	金額	備考
研究研修費		
調査旅費	301,500円	出雲市議会
資料作成費		
資料購入費		
広報費		
広聴費		
事務費		
その他の経費	550円	
合計	302,050円	

3 残額 1,107,950円

注 備考欄には、主たる支出を記入してください。

この報告書には、支出が明らかな領収書等の証拠書類を添付してください。

支 出 伺

令和4年3月26日

本書金額を、政務活動費より支出してよろしいか。

代表者印	経理責任者印	請求者 藤田節雄 [Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	
令和3年度		
科 目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 調査旅費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務費 <input checked="" type="checkbox"/> その他の経費	
金 額	302,050円	
対象者氏名	森川亜紀、今井廣一、井上浩二、臼坂 均、西坂 壽、越智俊幸 藤田節雄	
支出内訳	1. 調査期間 令和4年3月29日(火)～3月30日(水) 2日間 2. 調査場所 島根県出雲市議会 3. 調査人員 7名 4. 予算支出額 (1)調査旅費 宿泊料及び日当7名分 128,100円…① バス借上料 173,400円…② ① + ② = 301,500円…③ (2)その他の経費 振込手数料 550円…④ 5. 政務活動費から支出する額 ③ + ④ = 302,050円	
支出年月日	令和4年4月4日	
金銭出納簿 記載済印	井上浩二 [Redacted]	

領収証

自兵衛

様

4年4月4日

金額					千			円
	7	1	7	3		4	0	0

但し 3/29~3/30 ハス借上料として 上記の金額正に受領致しました



現金 _____
 小切手 _____
 振込 0 _____



愛媛バス株式会社

本社
 〒799-1302 愛媛県西条市楠 甲51751
 TEL (0898) 66-0303(代)
 FAX (0898) 66-0307

ときめきバスツアー好評募集中!

取扱者

3 31	議
	議

出張報告書

令和 4 年 3 月 31 日

西条市議会議長
武田 功 殿

出張者 自民クラブ 会長 藤田 節 雄

政務活動費による出張の概要を、下記のとおり報告します。

記

出張先	島根県出雲市【出雲市議会】
出張機関	令和4年3月29日～ 令和4年3月30日(2日間)
出張用務	令和3年度自民クラブ 会派視察研修
概要報告	島根県出雲市【出雲市議会】
	【出雲エネルギーセンターについて】
	(概要)
	出雲市は2022年度に2050年ゼロカーボンシティに実現に向け、現在策定している環境基本計画と地球温暖化対策実行計画を統合した新たな中長期的な計画を策定している。今回は、その中の地域新電力事業「いずも縁結び電力(株)の取り組みについて研修を行った。出雲市内ではいろいろなエコな電気を作っているが、再生可能エネルギーを地域で活用する仕組みが構築できておらず、域内の需要と供給を「つなぐ」役割が不足していたため、地域新電力会社の設立を行ったという。
	太陽光発電や水力発電、廃棄物発電などの地域内で作り出された再生可能エネルギーを地域内で活用する「エネルギーの地産地消」の取り組みを推進するために、地域の再生可能エネルギーの発電と消費の縁結び役となる地域新電力会社を設立し、市は5,000万円(出資比率10%)を出資している。
	今回、研修を行った出雲エネルギーセンターの主な施設概要であるが、処理可能燃焼設備は200t/日、受け入れ供給施設はビット&クレーン方式、燃焼設備は連続運転式ストーカ焼却炉、燃焼ガス冷却設備は廃熱ボイラ方式、排ガス処理設備はろ過しゅうじん器で、無触媒脱硝方式で活性炭吸着塔を設置している。
	工期は2018年9月～令和4年3月で、2022年4月1日から稼働となる。
	可燃ごみ焼却場で作られる電力の33,894MWhはいずも縁結び電力会社を経由して、出雲市内の公共施設136箇所で使用されることになるという。

